

平成25年度 小学校における英語活動等国際理解活動指導者養成研修 実施要項 ～外国語活動の充実に向けて～

1 目的

平成23年度より、中・高等学校において育成されるコミュニケーション能力の素地を養うことを目標に、小学校高学年において週1コマの外国語活動が導入された。

本研修では、外国語活動を担当する指導主事等に、児童が意欲的に取り組む活動の設定・指導法及び学習評価、小中連携等について、必要な知識等を総合的に修得させることを通じて、各地域において本研修内容を踏まえた研修の講師等としての活動や各学校への指導・助言等が、円滑に行われることを目的とする。

2 主催 独立行政法人教員研修センター

3 共催 文部科学省

4 期間 平成25年10月2日（水）～10月4日（金）

5 会場 独立行政法人教員研修センター
〒305-0802 茨城県つくば市立原3番地

6 受講者

(1) 受講資格

都道府県・指定都市・中核市教育委員会の指導主事及び教育センターの研修担当主事並びにそれに準じる者。

小学校及び特別支援学校、中学校外国語科の教諭等であって、各地域において本研修内容を踏まえた研修の講師及び、小学校における外国語活動推進の指導者として活動を行う者。

(2) 推薦人数

各都道府県（中核市分を含む。）においては2名以上、各指定都市においては1名以上とする。なお、受講者は原則として推薦のあったとおり決定するが、推薦状況によっては調整を行う場合がある。

(3) 推薦手続

各都道府県・指定都市教育委員会において、推薦者を取りまとめ、独立行政法人教員研修センター「インターネット受講者推薦登録システム」（別添「インターネット受講者推薦登録システム操作マニュアル」参照）により、平成25年8月6日（火）までに申請すること（国立大学法人等においては、別添推薦名簿に基づき申請すること）。

また、受講希望がない場合であっても、「インターネット受講者推薦登録システム」上の担当者情報に入力すること。

(4) 受講者の決定

各都道府県・指定都市教育委員会からの推薦に基づき、当センターが決定し通知する。

なお、受講者は原則として推薦のあったとおり決定するが、推薦状況によっては当センターにおいて調整を行う場合がある。

7 研修内容 別紙「日程表」のとおり

8 演習の内容及び事前提出課題

(1) 演習1

外国語活動を推進する上で、①児童が意欲的に取り組む活動の設定・指導法及び学習評価、②効果的な小中連携の2つの観点から、成果と課題についてグループで話し合いを行い、情報を共有する。

【事前提出課題1】上記内容で話し合いを行うための資料を作成する。(別紙様式1)

域内の学校又は自校における外国語活動の現在の取組状況について、どのような成果と課題があるか上記2つの観点から自らの実践を踏まえて資料を作成する。

【事前提出課題2】外国語活動の指導案を作成する。(別紙様式2)

外国語活動について、児童一人一人が充実感を味わい、意欲的に取り組む活動を考え指導案を作成する。

(2) 演習2

演習1において出された課題を解決するとともに、①児童が意欲的に取り組む活動の設定・指導法及び学習評価、②効果的な小中連携について、指定された課題ごとのグループで解決策を話し合い、具体的な実践方法を探るとともに、演習3に向けた発表資料を作成する。

(3) 演習3

演習2で話し合った内容と作成した資料について、ポスターセッション形式で発表し、情報の共有を図るとともに、実践に向けた方策を知る。

なお、事前提出課題の提出方法等の詳細については、別途通知する。

9 その他

(1) 受講者は、本研修を受講するにあたって、下記の①、②の資料を事前に読んでおくこと。③～⑤の資料についても、事前に読んでおくことが望ましい。

①小学校学習指導要領(平成20年3月告示)第4章 外国語活動

②小学校学習指導要領解説 外国語活動編(平成20年8月)

③小学校外国語活動における評価方法等の工夫のための参考資料(平成23年11月 国立教育政策研究所教育課程研究センター)

④月刊 初等教育資料 2010年6月号 東洋館出版

⑤月刊 初等教育資料 2012年2月号 東洋館出版

⑥月刊 初等教育資料 2012年5月号 東洋館出版

⑦月刊 初等教育資料 2013年2月号 東洋館出版

⑧月刊 初等教育資料 2013年7月号 東洋館出版

(2) 受講者は、下記のものを持参すること。

① “Hi, friends! 1” 及び “Hi, friends! 2”

② “Hi, friends! 1” 指導編及び “Hi, friends! 2” 指導編

(3) 所定の課程を修了した者には、修了証書を授与する。

(4) 本研修終了後、受講者アンケート等を行う。

(5) 本研修は原則として宿泊研修とし、当センター宿泊施設を利用するものとする。

(6) 本研修は、平成25年度から委託研修(地方公共団体からの委託を受けて実施する研修)として実施する。この委託研修の実施に係る必要経費は、原則として派遣者負担とするが、平成25年度については移行措置として当センターの負担で実施する。(別添〈参考〉平成25年3月4日付事務連絡参照)

※研修会場までの移動に要する交通費、滞在中の宿泊費等を含めた旅費については、従前どおり派遣者負担とする。

平成25年度 小学校における英語活動等国際理解活動指導者養成研修 日程

	9:30	10:00	10:30	12:00	13:00	15:00	15:15	17:00
10月2日(水)		受付	オリエンテーション	課題協議1 小学校における外国語教育の必要性 ◎目的:小学校における外国語教育の必要性を知ることにより、充実のための環境整備、効果的な授業等の指針を見出す。	昼食 休憩	演習1 外国語活動に関する取組状況 ◎目的:課題協議1の内容も考慮し、自校、自地域を振り返り、外国語活動の取組についての情報を得るとともに、成果と課題を共有する。 ※班別協議。事前課題で作成した各地域での取組内容と実施に伴う成果と課題を共有し、今後の研修において解決方策への意識を高める。	休憩	事例発表 「外国語活動の内容」 ～児童が意欲的に取り組む活動の設定・指導法及び学習評価～ 「小中連携」 ～効果的な小中連携の在り方～ ◎目的:先進的な事例を通して、“Hi, friends!”活用のねらい、効果的な活用法、効果的な小中連携の在り方を知り、小学校における外国語教育の課題に対する解決方策を探る。

	8:30	9:00	10:30	10:40	12:10	13:10	17:00
10月3日(木)	受付	課題協議2 外国語教育における小中連携の必要性とその後の展望 ◎目的:小中連携の効果を知るとともに、その後の外国語教育にも目を向け、連携をより効果的にするために小学校・中学校、それぞれに求められる課題を探り、外国語教育の展望を考える。	休憩	課題協議3 小学校における外国語教育の課題 ◎目的:研修内容を振り返り、講師とともに課題解決の情報を交換する。(シンポジウム形式)	昼食 休憩	演習2 外国語活動を円滑に進めるための方策Ⅰ ◎目的:外国語活動の推進及び充実のために必要な事項を整理し、推進方策等についての知識・方法を探る。 ※演習1において出された課題を解決するとともに、①児童が意欲的に取り組む活動の設定・指導法及び学習評価、②効果的な小中連携を進めるためには、具体的にどのような取組が必要か考えてまとめる。	

	8:30	9:00	12:10	13:10	14:40	15:00
10月4日(金)	受付	演習3 外国語活動を円滑に進めるための方策Ⅱ ◎目的:外国語活動の推進及び充実のために必要な事項を整理し、推進方策等についての知識・方法を知る。 ※演習2で作成した資料についてポスターセッション形式で発表し、その後各班で振り返る。	昼食 休憩	課題協議4 研修講師となるために ◎目的:本研修を振り返り、研修成果をまとめる。	閉講式	

平成25年度 小学校における英語活動等国際理解活動指導者養成研修

事前提出課題 1 : 演習 1 「外国語活動に関する取組状況」

受講者番号	都道府県・指定都市名	所属	職名	氏名

域内の学校又は自校における外国語活動の現状について以下の項目ごとに（1）取組（2）成果と課題を箇条書きにまとめる。

1 児童が意欲的に取り組む活動の設定・指導法及び学習評価

（1）取組

（2）成果と課題

2 小中連携

（1）取組

（2）成果と課題

注1) A4判1ページとする。

注2) 必要と思われる補助資料等がある場合は、8部（班内配付用）を持参すること。

平成 25 年度 小学校における英語活動等国際理解活動指導者養成研修

事前提出課題 2 : 演習 1 「外国語活動に関する取組状況」

受講者番号	都道府県・指定都市名	所属	職名	氏名

外国語活動指導案（児童一人一人が満足感を味わい、意欲的に取り組む外国語活動指導例）

1 学年

2 単元名

3 単元の目標

4 単元の評価規準

5 単元の指導計画（全 時間）

時間	目標	主な活動
1		・ ・
2		・ ・
3		・ ・

6 本時の指導（第 時）

(1) 目標

・

(2) 評価規準（評価の観点も記載すること）

・

(3) 展開

時間	児童の活動	指導者の活動	指導上の留意点 ◎評価〈方法〉

注 1) A 4 判 2 ページ以内とする。

注 2) 必要と思われる補助資料等がある場合は、8 部（班内配付用）を持参すること。